

富士山憲章 NewsLetter



No.141



富士登山2023
- 下山の極意 -

美しい富士山を後世に引き継ぐために・・・
- 富士山レンジャー写真展2023 -
- 富士山美化啓発キャンペーン -

本編目次

富士山憲章News	1
富士登山2023	4
富士山レンジャー活動報告 ...	6
野鳥コラム	
新任レンジャー紹介	7
富士山世界遺産センター だより22号	8
おしらせ	10

(写真提供 山梨県富士山レンジャー)

令和5年度 富士山憲章山梨県
推進会議幹事会の開催

令和5年5月23日(火)山梨県立富士山世界遺産センター北館研修室において、令和5年度富士山憲章山梨県推進会議幹事会が開催されました。

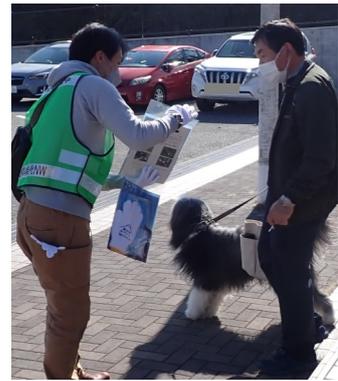
富士山ボランティアセンターを運営している富士山憲章山梨県推進会議は、山梨県と富士北麓地域の7市町村(富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町)、2つの恩賜林組合(富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合)で構成されており、平成10年に山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の普及啓発や、富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っています。年に1度行われる幹事会では、前年度の活動内容が報告されるとともに、さらに多くの方々に「富士山憲章」を知ってもらい、富士山の保全活動に協力してもらうための今年度事業を決定しました。

令和4年度 活動報告

昨年度も、多くの方々に当センターの事業にご協力いただきました。ありがとうございました。

令和4年度は新型コロナウイルス感染

症の影響により中止となっていた各種イベントも、参加人数の制限など規模を縮小し、活動を実施しました。



不法投棄防止を呼びかける様子

「富士山憲章」の周知、普及と、環境意識の向上を図る啓発活動「富士山憲章キャンペーン」では、地域主催イベント時、「富士山憲章」が入った啓発物品の提供。近隣施設や小学校等での啓発物品の配布。また、マイカー規制期間中には、シャトルバス利用者及び観光客へのゴミ持ち帰りを呼びかけながらのゴミ袋配布と清掃を行う富士山美化啓発キャンペーンを3年ぶりに開催。台風の接近で中止の日もありましたが、1日250枚以上のゴミ袋を配布することができました。その他、10月に「ぐるり富士山風景街道一周清掃2022」の重点区間清掃活動に参加する形で「国道清掃キャンペーン」を、11月は、富士山麓環境美化推進ネットワーク構成団体約50名の方々とともに、不法投棄防止の啓発と清掃活動を行う「富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中キャンペーン」を実施。

行動制限が解除され、人々が活発に動き始めたこともあり、捨てられたゴミの現状を知ってもらうよい機会であったと感じています。

富士山の自然を感じながら歴史、文化を学ぶ散策と清掃活動を行う「富士山エコトレッキング」は7月、10月に開催し、山梨県外からの参加者もいました。

また、年間3回刊行しているニュースレターでは「夏山登山」「冬山啓発」など富士山レンジャーが安心・安全な富士登山を紹介するほか、刊行時期に合わせた内容を掲載しました。



「第20回富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」には、34都道府県から1336点のご応募をいただきました。富士山への思いあふれる作品の中から、富士山世界遺産登録10周年記念特別賞を含む入賞20点は富士山ボランティアセンターのHPにてご覧いただけますとともに、入賞・入選200点は県

内外での巡回作品展でもご覧いただけます。

令和5年度 事業内容

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによる人々の動きに見合う対応の中、美しい富士山を末長く後世に引継いでいくため、富士山憲章の普及・定着を図る活動を行うとともに、富士山の環境保全に向けて、多くの方に積極的に行動いただけるような取り組みを進めて参ります。

主な事業として、

まず、清掃活動と組み合わせた「富士山エコトレッキング」は、富士山に生息する動植物の解説を聞きながらまわるコースや、自然に満ちた道をたどりながら富士登山の魅力を味わえるコースを予定しています。



御中道の様子



馬返の様子

次に、「富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」についても継続し、21回目を迎える今年度も富士山への愛に溢れた作品を全国から募集します。入賞・入選200点については、県内外各所にて巡回作品展の開催を予定しています。



第20回巡回作品展の様子

その他、富士山及び北麓地域の美化清掃をしてくださる方等に清掃用ゴミ袋や軍手を無料で配布します。



また、小学校中学年児童から学べる富士山の気象・地形・地質・動植物・歴史・文化や保全対策などまとめた「富士山環境保全ガイドブック」と、富士山が世界遺産に登録された背景、植物の分布、美しい景観を守るための活動などを写真や図を交えて分かりやすく紹介している「富士山憲章ワークブック」も無料で配布します。ワーク

ブックは富士山ボランティアセンターのHPにて無料でダウンロードできます。

富士山環境保全募金・寄付金
募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、皆様へ募金のご協力をお願いしております。寄せられた募金は、富士山の環境保全のための費用として大切に活用させていただきます。ご理解とご協力のほど、よろしく願います。

カラマツから作られた募金箱(2019年1月制作)を次の場所に設置しています。



- ・ 富士山ボランティアセンター
- ・ 山梨県富士山科学研究所
- ・ 道の駅 富士吉田
- ・ ふじやまビール
- ・ 三ツ峠グリーンセンター
- ・ 富士湧水の里水族館
- ・ 山中湖観光案内所
- ・ 山中湖温泉 紅富士の湯
- ・ 山中湖 花の都公園
- ・ 富士河口湖観光総合案内所
- ・ 河口湖自然生活館
- ・ 道の駅 なるさわ
- ・ 身延町みすきふれあい館

※一万円以上の寄付をいただいた方、団体には感謝状を贈呈します。

ご協力いただける方(団体)は、富士山ボランティアセンターまでご連絡をお願いいたします。令和4年度の募金・寄付金につきましては、富士山ボランティアセンターHP「収支報告」にて掲載しています。

第20回富士さんへ謹賀新年
〜富士山あて年賀状〜
入賞・入選作品展のお知らせ

「第20回富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」入賞・入選作品展を開催しています。今年は世界遺産登録10周年記念の年でもあり、富士山を擬人化して募集した年賀状には、人々の願いや祈りも反映したメッセージが34都道府県から数多く寄せられています。富士山への愛に溢れた力作をぜひご覧ください。

今後の開催スケジュールは次のとおりとなります。

- 7月1日(土)〜7月30日(日)
- 身延町みすきふれあい館
- 8月1日(火)〜8月31日(木)
- 山梨中央銀行本店
- 9月1日(金)〜9月18日(月・祝)
- ふじさんミュージアム

9月21日(木)〜10月9日(月・祝)
四季の杜おしの公園

小池邦夫絵手紙美術館

10月12日(木)〜10月30日(月)

富士河口湖町役場

11月1日(水)〜11月26日(日)

11月1日(水)〜11月26日(日)

12月2日(土)〜12月18日(月)

12月2日(土)〜12月18日(月)

12月20日(水)

〜
令和6年1月9日(火)まで

山梨県立富士山世界遺産センター

北館 Final!

なお、開催日程等に変更の可能性がありますが、富士山ボランティアセンターHPにて最新の情報をご確認ください。



富士山ボランティアセンター

新着情報



(<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>)

祝 富士山世界文化遺産
 富士山―信仰の対象と芸術の源泉―

世界に誇る日本の象徴である富士山を未来に受け継ぐため、山梨・静岡両県で、「富士山憲章(1998年11月18日)」を定め、富士山の保全と適正な利用を呼びかけ、富士山の世界遺産登録に向け様々な取り組みを続けました。

そして富士山を愛する多くの人々の思いが結集され、2013年6月22日日本で17番目の世界文化遺産登録。

人類共通のかけがえのない財産として、国際的に保全し、未来に残すことが求められる世界遺産として、世界で認められました。

登録から10周年を迎えた今年は、新型コロナウイルス感染症も5類に移行したことで、6月22日に様々な富士山世界文化遺産登録10周年記念イベントが開催されお祝いムードが広がる中、富士山憲章山梨県推進会議でも、第20回富士さんへ謹賀新年〜富士山あて年賀状〜の入賞・入選200点巡回作品展を山梨県立富士山世界遺産センター南館で再展示しました。その際、「最優秀賞」と「富士山世界遺産登録10周年記念特別賞」を受賞した

方々に作品のコンセプトや富士山に寄せる想いを伺いました。

最優秀賞(小学生の部)

毎年応募していますが、今年も「富士山のもとに住む人たちがしあわせになるように」と作りました。富士山に登ったことはないけれど、富士山は美しいから好きです。これからも美しく元気でいてください。



最優秀賞(小学生の部)
 山梨県/梶原伊織さん

最優秀賞(中・高校生の部)

授業で学んだ技法(色鉛筆)を生かしながら、綺麗に見えるように丁寧に仕上げました。この作品を見て富士山を見たときのような明るい気持ちになってもうえたら嬉しいですね。



最優秀賞(中・高校生の部)
 岡山県/井手日菜乃さん

最優秀賞(一般の部)

毎年応募していますが、昨年末に手術のため入院し、その病院の休憩室の窓よりいつも富士山を見ており、早く退院できればと祈っておりました。5合目まで登ったことはありませんが、その先には行っておりません。当時小学生の孫が、相当苦勞して頂上まで登りました。孫に勇気を与えてくれた、我が町よりも見える富士山は大好きです。



最優秀賞(一般の部)
 東京都/中村順平さん

富士山世界遺産登録10周年

記念特別賞

富士山を愛する人々が集い、現在も未来にも世界遺産として大切に守っていくという意気込みと、富士山が放つ神々しさのようなものを描きたいなと思いました。人々は干支のうさぎにしました。宝永火口を見に登りましたが、山頂にはまだ登ったことはありません。でも、ちょうど古希を迎える年に富士山に足を踏み入れたという記念すべき登山でした。富士山は、圧倒的

な存在感があり、勇姿はすばらしく、大好きです。ずっとこのまま、で〜んと構えて私たちを惹きつけ、また神々しい力で未来を見守ってほしいです。「桜が咲く日本には富士山あり」ですね。



富士山世界遺産登録
 10周年記念特別賞
 愛知県/山口秀子さん

今回は4名の受賞者の方々にお話を伺いました。

ご協力ありがとうございました。
 毎回様々な想いが込められた年賀状がたくさん届きます。一作品ごと工夫され、素敵な作品ばかりです。こんなにも愛されている富士山を美しいまま後世に引き継いでいくために、富士山ボランティアセンターでは今後も関係機関と協力し、「世界遺産富士山」の環境保全活動と、「富士山憲章」の普及活動に取り組めます。

富士山ボランティアセンターのHPでは、ボランティア活動の募集や富士山レンジャー写真展など含め富士山関連情報を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

(<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>)



富士“下山”の極意

今回のテーマは「無事下山」。富士山には、「高山病」以外にも、色々な「病」や「危険な誘惑」が潜んでいます。特に下山時には要注意！「症例」と対処法を幾つかご紹介します。



「もったいない」で症
登ったからには是非「お鉢巡り」を！…しなくちゃダメですか？…お天気・体調・ゆとり、全部が揃った時に！！

「写陽族」の誘惑

寒さと混雑の中じっと堪えて何が何でも山頂でご来光！…じゃなきゃダメですか？がんばって登っている最中に迎える日の出も、結構イイものですよ！！

「ゆくもかへるも別れては」…
いけません！

吉田口方面／須走口方面の分岐は要確認。現在地把握は登山の基本&地図を見られる位の余力を残しておくこと。



富士山に水場は、ありません。

「まだ？は、もう！」
…山頂を最後に、次の七合目のトイレまでが実に長い。「下山前 済ませて安心 御手洗」(富士山レンジャー合言葉)



「思い出ボロボロ」

靴底は剥がれ落ち、膝はガクガク、爪先ジンジン。これでは折角の登頂も台無しです。…やはり日頃からのメンテナンスとトレーニングが本番でモノを言います！



「水魔」(すいま)との闘い

持ち過ぎると重くて登りの負担となる。しかし下山中に不足したら入手の術は無い。水はまさに「逃げ水」。買い足すのであれば、下山開始前までがオススメ。



要注意！吉田口登山道／スバルライン五合目分岐

本当のゴールは、雲の下のなつかしい我が家。新鮮でありがたい気持ちになれば富士登山は大成功！！





キーワード:「山頂はゴールではない」
…ゆとりをもった計画と万全の準備を!



九合目
呼吸を整え、水分や栄養もこまめに摂ろう!



八合目
下山道への連絡通路が何ヶ所もある。**地図**で確認しておこう。体調不良時等は無理せず下山しよう。



七合目
つづら折りの登り道はやがて岩場に。



六合目
山頂部が見えると思わず興奮!でも頭と呼吸は冷静に。



スバルライン五合目
「高度順応」を充分しよう!



登山に必要な装備や用意は、富士山も他の山と基本的には同じ。この頁の絵や写真を、皆さんの準備の「お供」にしてくれたら嬉しいです。

万事整えてGO!
…「登山は準備の時から始まっている」!



登下山道分岐

「泉ヶ滝」

吉田口登山道/
スバルライン五合目分岐



自然観察園リニューアル

富士山世界遺産センターの敷地内に、富士山の自然を体験できる「自然観察園」があります。約千年前に流れた剣尾溶岩流の上に出来た森です。この自然観察園をセンターを訪れる観光客や学校団体にもっと活用して頂けるよう、レンジャーが中心となり、リニューアルをしました。以前は様々な溶岩を紹介することが主な目的の遊歩道でしたが、園内の植生が変わるにつれ溶岩が落ち葉で隠れてしまっていることから、溶岩以外の、樹木や植物・動物の食痕など、様々なものを観察できるように遊歩道を整備し、ガイド無しでも歩けるようにセルフガイド



不要になった看板を撤去するレンジャー

シートを作りました。富士山の自然に気軽に触れることができる散策コースです。

富士山環境美化推進ネットワーク



関係者に不法投棄の状況を説明するレンジャー

3月14日、富士山環境美化推進ネットワーク会議が富士山世界遺産センター2階の研修室で行われました。富士山環境美化推進ネットワークは、富士山北麓でのゴミの不法投棄問題に対応するべく、平成16年から活動しています。メンバーは環境省、山梨県、周辺市町村と、民間の42団体で構成されています。メンバーは日常業務等で発見した不法投棄物の通報、不法投棄防止啓発活動への参加など、ネットワーク設置の目的に即した活動を日ごろから行っています。年1回の会議ではレンジャーは1年間に発見した不法投棄についての報告をしています。令和4年度の発見件数は90件、推定重量は2774kgでした。

五合目自主防災訓練

5月30日、富士スバルライン自主防災協議会主催の防災訓練が、五合目周辺にて行われました。関係各機関から、合わせて約150人が参加しました。今年は4年ぶりの開催となりましたが、訓練の方法がより現実に沿った「ブライインド方式」と呼



ケガ人役の男性を背負うレンジャー

ばれる方法で行われました。あらかじめ決められたシナリオ通りに動くのではなく、訓練中に様々な情報が出る、というもので、既存のやりかたよりも臨機応変な対応が求められました。レンジャーは巡回中に噴火警報が出たら、周りの登山者に下山を促し、下山が困難な人を誘導する必要があります。今回の訓練を終えて、本当に噴火の危険が高くなった場合に遭遇したら、混乱する現場で力を発揮できるように、日ごろから準備をしておか

なければならぬと感じました。

富士山『無事』登頂の秘訣

6月11日、東京都台東区にあるモンベル御徒町店4階サロンにて、富士山についての講義をしました。夏の富士山での安全登山啓発の経験を活かし、初めて富士山に登る人を対象にスライドを使って分かりやすく説明をしました。講義の内容は富士登山に必要な予備知識、アクセス方法、山行プラン、高山病や低体温症の回避方法などで、また実際にレンジャーが使っている装備品を持参し、手に取り見てもらうようにして使用方法などの説明をしました。参加者は「富士登山に初挑戦する」「もう一度登りたい」という方々で、皆さん熱心に耳を傾けてくださいました。一人でも多くの登山者の安全富士登山のお手伝いができたら嬉しいですね。



富士登山の行程を紹介するレンジャー

フリーコラム わた 野鳥はなぜ渡るのか？

みなさんこんにちは。鳥好きの新人レンジャーです。

突然ですが、季節によつて移動（＝渡り）をしながら生活している鳥がいることをご存じでしょうか？また、野鳥たちはなぜ移動をするのでしょうか。

皆様の素朴な疑問を解決するべく、私がお手伝いします！

ご存じの方も、そうでない方もこのコラムを読んでいる数分間は、鳥たちのことを想つて癒されてくださいね。

まずはじめに、**渡りとは「季節によつて長距離移動をする習性」のことを指します。**そして、日本に訪れる時期によつて呼称が異なります。詳しくみていきます。

例えばツグミ。この鳥は冬になると日本へやってくるので「冬鳥」です。普段はロシアなどの寒い地域に棲んでいます。しかし、冬のロシアは寒すぎますよね。さすがのモフモフボディでも耐えられません。しかも、エサである虫もいなくなりますが、どうしよう…。

そこでツグミは考えました。

「南下すればいいのでは!？」



そうして日本にやってくる、ぬくと冬を越し、春になるとまた故郷へ帰るのが冬鳥です。（ちなみに、夏は故郷で子育てを頑張っています。）

冬鳥とは反対に、夏になると南の国（東南アジア等）から日本へやってくるのは「夏鳥」と呼ばれています。彼らは**日本で繁殖**をした後、秋になると南下して故郷へ帰ります。例としてはツバメやオオトリ、キビタキなどのヒタキ類です。とても綺麗なのでぜひ調べてみてください。



筆者の愛する
ルリビタキ

その他、渡りをしない「留鳥」や、他国へ渡る途中に日本へ立ち寄り「旅鳥」など、渡り鳥の区分はいくつかありますが、それはまたの機会に…！

結論として、**渡りの目的は、「越冬や繁殖のため」**でした。

最後まで読んでくださりありがとうございました。

皆様、楽しい鳥ライフを！

新任レンジャー紹介

遠藤 亜美 レンジャー

幼い頃から自然や生き物に触れる機会が多かったことから、それらの保全に携わりたいと考えたのが、自然環境行政に関する仕事に就きたいと思いつっかけでした。

その夢を叶えるために入学した専門学校では、様々な分野を学ぶ中で特に惹かれた鳥類学を専攻し、ここでレンジャーの存在を知ります。



野鳥をはじめとした生き物や自然の面白さ、それらを守っていくことの重要性を人々に伝えられる点に魅力を感じ、自分もレンジャーとして現場で奔走したいと考えるようになりました。

これまでの経験を活かし、そしてこれからも努力を重ね、富士北麓とそこに棲む生き物たちを守る一助になりたいと考えております。

藤間 由起 レンジャー

初めて富士登山に挑んだとき、茨城県日立市に生まれ育ち関東平野を囲む連山を見慣れた目に、独立峰である「火山・富士山」が、恐ろしいほどの迫力で迫ってきたことを覚えていきます。その富士山を守り継承していくための業務を担う富士山レンジャーに就任しました。

仕事を通して富士山を見ると、これまで見過ごしてきた、たくさんのごとが見えてきます。

多くの人々が、それぞれの立場から富士山を守ろうと努力している一方で、ゴミの不法投棄や身勝手な行為をする人がいる…。

どうしたらみんなが、「富士山を美しいまま後世に引き継ごう」という思いを一緒に持つようになるのか、これからレンジャーとして、考え、行動していきたいと思えます。



富士山世界遺産センターだより22号

● **世界遺産登録記念日の様子**
 皆さんご存じの通り、今年も富士山の世界文化遺産登録されて10年目の記念すべき年となります。6月22日の登録記念日には、イベントを行いました。

● **クイズラリー**

6月21日から25日の期間で、山梨県富士山科学研究所と山梨県立富士山世界遺産センターを見学してクイズにチャレンジしてもらいました。クイズ用紙に2施設両方のスタンプを押しもらい、期間中に用紙を持参した方には記念品をプレゼントしました。

とても好評で、たくさんの方に参加していただきました。小さいお子様がいるご家族、小中学生の皆さん、一般の方まで、参加した方々も様々でした。記念品も喜んでいただけただよう嬉しく思います。

今回の企画を逃してしまつた方、また次は参加したいという方、同様のイベントを11月20日(県民の日)と2月23日(富士山の日)にも計画中です。イベントが近くなりましたら、お知らせしますので、ご確認ください。

● **缶バッジづくり**

6月22日の登録記念日には、当センター南館内で缶バッジづくりを行いました。こちらも毎年行っている企画です。デザインも様々で、いろいろな缶バッジを作ることができました。

思い思いに富士山に色をつけたり、言葉を入れて、自分だけのオリジナル缶バッジを作っていました。

クイズラリーと同様に11月20日(県民の日)と2月23日(富士山の日)にも行います。是非ご参加ください。



● **世界遺産登録10周年記念式典**
 世界遺産に登録されて10周年となる今年、各方面の関係団体が招待され、東京都千代田区の東京国際フォーラムにおいて、「富士山世界文化遺産登録10周年記念式典」が開催されました。



式典の中では、富士山世界文化遺産学術委員会委員長の青柳正規氏による「世界遺産としての富士山」と題して講演が行われました。

また、「富士山から発信する持続可能な社会の実現」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

パネラー 岡橋純子氏 織朱實氏
 コーディネーター 近藤光一氏 小田全宏氏

式典会場では関係団体が展示ブースを設け、それぞれの活動や施設紹介が行われました。本センターも展示ブースを設け、施設紹介を行いました。

● **展示に参加した団体**

- ・山梨県立富士山世界遺産センター
- ・静岡県富士山世界遺産センター
- ・ふじさんネットワーク
- ・山梨日日新聞社
- ・東アジア文化都市2023静岡県
- ・富士五湖自然首都圏フォーラム
- ・身延町・忍野村
- ・富士河口湖町
- ・静岡市・富士宮市
- ・富士市・御殿場市
- ・小山町



パンフレット・缶バッジを配布

富士山世界遺産センターだより22号

一〇〇年前の富士山の観光

「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」が世界文化遺産に登録されて今年でちょうど一〇〇年がたちます。しかし、当センターで来館者の方々と接していると、「信仰の対象」としての富士山を観光するといふよりも、富士山周辺の豊かな自然を楽しむことに主眼を置いているような印象を受けます。

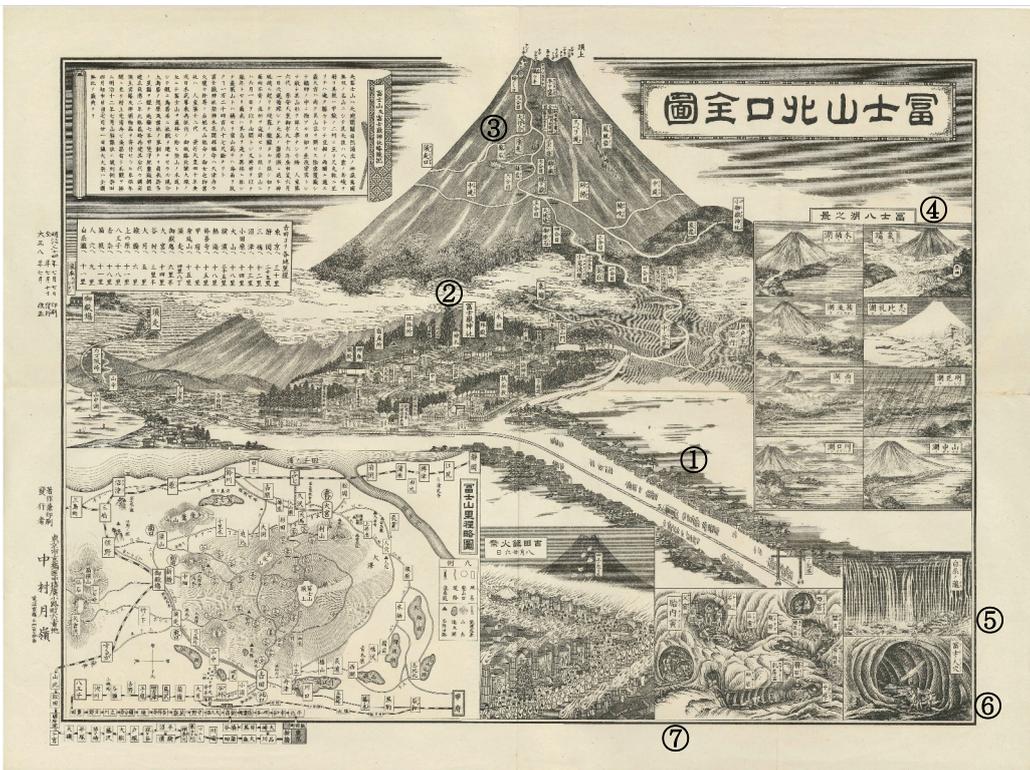
それでは、約一〇〇年前の明治・大正時代に富士山を訪れた旅行者は富士信仰をどれくらい意識していたのでしょうか？今回は当時の富士山の観光について、一枚のガイドマップをてがかりに考えてみたいと思います。

〈ガイドマップ・「富士山北口全図」〉

「富士山北口全図」は山梨県側の登山口である吉田（富士吉田市上吉田）の町を描いた銅版画で、登山案内図として観光客に販売されていたと考えられます。明治三四年（一九〇一）の初版以降、昭和前期にまで繰り返し改正版が発行されたロングセラーです。写真は大正八年（一九一九）の改正版です。

下から、①吉田の町、②北口本宮富士浅間神社、③富士山と吉田

口登山道が描かれます。吉田の町の御師の家で一泊し浅間神社にお詣りしてから富士山に登る、という富士講の登拝のスタイルがみてとれます。また、④富士八湖（現在の「富士五湖」に四尾連湖など二湖を加えたもの）や、⑤「白糸ノ瀧」、⑥「富士人穴」（現・人穴富士講遺跡）、⑦「胎内潜」（現・船津胎内樹型と推定）といった富士講の巡拝地が描かれています。作者の中村月嶺は京橋（東京都中央区）の富士講・明輝講の講員でした。この案内図は富士講の立場から描かれたと考えられます。



中村月嶺「富士山北口全図」(大正8年/1919年)

〈富士信仰を意識した観光〉

この絵図が出版された明治・大正時代は富士講も盛んでしたが、信仰心に基づかない登山や観光をする人も増えていました。しかしこのような観光客にも富士講の視点で描かれた「富士山北口全図」が受

け入れられていたとすれば、彼らは富士信仰を意識した観光をしていた可能性があります。このような観光がどう変化して現在のスタイルになったのかについては、今後の研究課題にしたいと思います。

（学芸員 千原鴻志）

令和5年度 世界文化遺産登録10周年記念

第1回企画展「東国・北国・西国の富士信仰」

- ◇会期 2023年7月27日(木)～9月25日(月)
- ◇会場 富士山世界遺産センター南館 富士山ステーション
- ◇内容 「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」の世界文化遺産登録10周年を記念して、東国(関東)、北国(信越)、西国(伊勢志摩)といった日本各地における富士信仰の多様な姿を紹介します。
- ◇観覧料 無料

富士山美化啓発キャンペーンボランティア大募集!!

登山シーズンを迎え、登山者や観光客にゴミの持ち帰りを呼びかけるとともに、環境保全のための清掃活動を行うボランティアを募集します。皆様のご参加、お待ちしております。

実施期間：8月4・11・18・25日(金) 計4日間

9時集合～11時30分散会予定

活動場所：富士山パーキング(富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84)

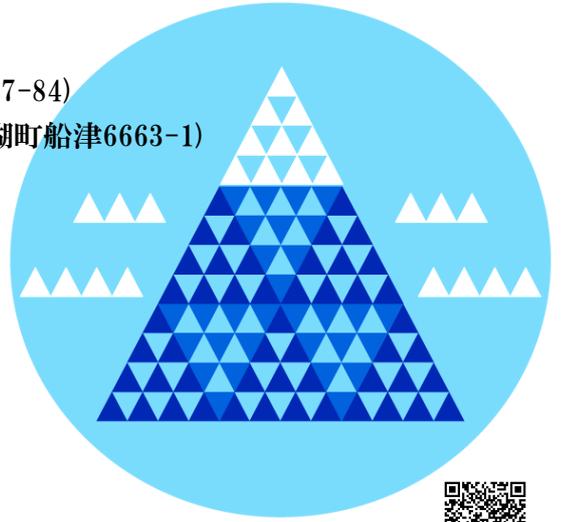
集合場所：富士山ボランティアセンター(南都留郡富士河口湖町船津6663-1)
(山梨県立富士山世界遺産センター北館内)

募集人数：各日10名程度

持ち物等：帽子、飲み物、カップ、動きやすい服装等

募集締切：7月26日(水) 午後5時まで。定員になり次第終了

※野外での活動です。各自感染症対策および熱中症対策も
お願いします。マスク着用は個人の判断に委ねます。



詳細はこちらのHPをご覧ください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/fujisan-bikakeihatsu-cp.html>

富士山レンジャー写真展 2023



山梨県富士山レンジャーの視点で撮影した美しい風景や植物、富士山が抱えている問題など紹介しています。

巡回中に撮られた写真から富士山の環境保全について考えるきっかけとなれば幸いです。ぜひご覧ください。

巡回展の日程など詳細はこちらのHPから→

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/fujisanranger-photoexhibition.html>



富士山憲章 (行動規範)

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

■編集・発行 富士山ボランティアセンター
(富士山憲章山梨県推進会議)

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
(富士山世界遺産センター北館内)
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/index.html>